

武蔵野市「子どもの権利に関する条例骨子案」検討項目一覧

2022年1月18日

検討委員会委員長 喜多明人

○原案づくりの4段階

骨子案検討項目	主な条例骨子案の審議事項	→第5回確定（1月18日）
骨子案	条例の基本的な考え方を示したもの	→第5回・第6回（3月9日）・第7回（4月*日）
	骨子案に関するパブコメ（2022年5-6月）	→第8回（7月*日）・第9回（8月*日）
	➡委員会報告書2022（令和4）9月提出	
素案	ほぼ条例の最終形に近いもの（そのまま条文になるような形態）	
	市による素案作成（2022年9-11月）	
	素案に関するパブコメ（2022年12月）	
条例案	市による条例案作成（2023年1-2月）	➡市議会議案上程

○条例骨子案の構成と検討項目

<合計 29項目>

A 前文

<A-5項目>

A-1 多様性と子どもの権利

子どもの現実と重視したい子どもの権利—多様性（ダイバーシティ）の時代をむかえて
どのような「子どもの権利」が求められているのか

A-2 権利の保障方法

A-3 CFC（ユニセフの提唱）の実現

A-4 条例制定のプロセス

A-5 前文への子どもの声・言葉の反映

B 総則

<B-2項目>

B-1 目的規定について

B-2 条例上の用語の定義について

C 保障すべき子どもの権利（その理念・目的・考え方）

<C-3項目>

C-1 子どもにとって大切な子どもの権利とは

C-2 子どもの権利の広報・普及・研修

C-3 子どもへの子どもの権利広報・学習

- D 誰が保障するのか（保障主体と役割・責務） ＜D-5項目＞
- D-1 市の役割・責務（公民連携等を含む）
 - D-2 市民の役割・責務
 - D-3 家庭、親、法定保護者の役割
 - D-4 育ち学ぶ施設（学校ほか、子ども支援・ケア施設等）の役割
 - D-5 事業者
- E 子どもの権利保障の仕組みを創る（制度・条件整備・行財政等） ＜E-6項目＞
- E-1 子どもの居場所
 - E-2 子どもの相談（安心してつながる、関係づくり）
 - E-3 子どもの参加
 - E-4 多様な学びの保障
 - E-5 個別のニーズを持つ子どもへの支援
 - E-6 子どもを支える人びとの支援
- F 子どもが安心、安全に生活していくために ＜F-5項目＞
- F-1 子どもの事故の防止、事後対応
 - F-2 子どもの尊厳を傷つける暴力の防止
 - F-3 虐待の防止
 - F-4 いじめの防止
 - F-5 子どもの権利侵害の相談・救済の仕組み—第三者的相談救済機関の創設
- G 子どもの権利を保障する市の施策づくりとその水準維持・発展 ＜G-3項目＞
- G-1 子ども計画の策定方法
 - G-2 子ども計画の推進方法
 - G-3 子ども計画実施結果の評価・検証方法

H 雑則

以上